

## 令和7年度

# 公益財団法人丹後地域地場産業振興センター 事業計画

## はじめに

令和6年度、日本経済は緩やかな回復基調を示したものの、人手不足や原材料価格の上昇、少子高齢化、さらにはデジタル化の加速といった複合的な課題に直面しました。こうした状況を踏まえ、令和7年度は、これらの課題に対応しながら地域産業の持続的な成長を支えるための取り組みを強化していきます。

具体的には、「地域資源の高付加価値化」や「販路拡大支援の強化」に加え、「デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進」及び「持続可能な地域社会の構築」を重点施策として掲げ、事業を展開していきます。

特に、「京丹後市食品加工支援センター」（以下「加工支援センター」）の活用を通じた地域生産者の支援を一層充実させるとともに、「Tango Good Goods 認定事業」を活用した販路開拓を推進し、地域産業の成長を力強く後押ししていきます。

また、時代の変化に対応しながら、新たな価値創造にも積極的に取り組み、地域の特色を活かした産業振興と地域経済の活性化に一層努めてまいります。

## I. 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

### 1. 新商品・新技術開発支援事業（重点取組）

丹後地域における加工食品の保存性向上や価格の適正化など、地域が抱える課題を解決するため、「京丹後市食品加工支援センター」の活用を強化します。特に地域の農林水産業者は加工事業者を兼ねるケースが多く、生産から加工まで一貫した視点で支援を行うことが重要となります。そのため、地域の農林水産業者と連携し、新商品・新技術の開発、試作品・パイロット商品の製造を支援することで、販路開拓の実現性が高い競争力のある商品開発を推進します。

### 2. 丹後地域加工食品品質向上連絡会（重点取組）

パッケージングの改善や滅菌処理技術の向上等を通じ、販路先が求める品質・技術水準の達成を目指します。特に、地域の農林水産業者・加工業者の支援を強化するため、新たに京都府農業改良普及センター等をメンバーに加え、技術指導や情報提供を充実させ、製造技術の向上を地域全体で推進します。

また、参加事業者間で成功事例の共有と横展開を促進し、販路開拓の可能性をさらに広げていきます。

### **3. 食品加工技術研究開発事業（新規）**

食品加工技術の高度化を推進するため、京都府織物・機械金属振興センターと連携し、相談件数が多い「レトルト食品」の開発技術に関する勉強会を新たに実施します。得られた知見は、地域内外の食品製造事業者へ提供し、付加価値の高い地場製品の製造に活用します。

### **4. 高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業**

平成 27 年度に当センター内に導入した「高機能急速冷凍装置」（プロトン）を活用し、丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業、小売業者などと連携しながら、それぞれの分野で「食」に関する新たな戦略の構築を支援します。特に、品質保持技術の向上や、販路拡大に向けた商品開発の促進を図り、地域の食産業の競争力強化に貢献していきます。

## **Ⅱ. 人材育成事業（公益目的事業 1）**

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属業をはじめ、地域の事業所・商店街の維持・再生・発展を支援するとともに、地域特性を活かした未来志向の産業・ワークスタイルを創出し、雇用・就業の拡大を目指します。これらの目的達成のため、以下の人材育成事業を実施します。

### **1. 創業支援事業**

平成 26 年度より創業支援事業として「創業支援窓口」を開設し、創業希望者へのサポートを行っています。令和 7 年度も引き続き、関係機関・団体と連携しながら、相談対応、指導、情報提供を強化し、地域の新たな事業創出を促進します。

### **2. 手機講習会の開催**

研究開発棟に設置された手機を活用し、丹後地域の伝統産業である織物技術の継承・普及を推進します。指導者の育成にも注力し、次世代の技術者確保を図るため、「手機講習会」等を開催します。

### **3. 染色講習会の開催**

染色グループ「網野染色研究会 茜」の活動拠点として施設を提供し、染色技術の向上と次世代の技術者育成を支援します。また、地域内での関心を高めるため、「染色講習会」や「体験実習」等を実施し、技術の普及を進めます。

## 4. 丹後地域生産者・製造者レベルアップ支援事業

丹後地域の食品加工事業者等を対象に、販路ニーズに対応した加工技術に関する研修を実施します。これにより、事業者のスキル向上と地域全体の産業レベルアップを図り、競争力のある地場産業の育成を目指します。

## Ⅲ. 需要開拓事業（公益目的事業1）

### 1. 丹後ブランド商品認定事業

#### （1）Tango Good Goods 認定事業

本事業は開始以来27年目を迎え、令和7年度も引き続き実施します。製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲を高めるとともに、丹後ブランド商品のコンセプトを確立し、ブランドイメージの定着を推進します。また、流通の拡大及び需要の開拓を促進するため、以下の取り組みを行います。

- Tango Good Goods 認定推進委員会の開催
- Tango Good Goods 認定品の募集
- Tango Good Goods 審査会の開催
- 令和7年度認定品の BtoB カタログ作成及びバイヤーへの配布  
また、認定品への Tango Good Goods ロゴシールの貼付指導を推進し、地域ブランド商品としての差別化を強化します。

#### （2）丹後ブランド商品の販売促進と見本市の開催

第27回目となる丹後ブランド商品の「見本市」を開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場商品のPR及び流通促進を図ります。また、Tango Good Goods 商品の認知度向上と販路開拓を目的とし、PR展示等を実施します。

#### （3）Tango Good Goods 販路開拓支援事業（新規）

都市部のショッピングモールにおいて、Tango Good Goods 認定商品のテストマーケティングを実施し、消費者や小売業者のニーズを把握します。その結果をもとに、商品の改良や新たな開発を行い、商品力の向上と販路拡大を支援します。

### 2. 京都丹後ブランド製品会の支援及び事業検討

Tango Good Goods 認定事業者のうち、地域外への販路開拓に意欲のある事業者によって発足した「京都丹後ブランド製品会」について、すべての認定事業者が参加できるよう、時代に即した事業のあり方を検討し、支援を強化していきます。

### 3. 地域特産品販路開拓事業

#### (1) 地場産品販路開拓支援事業

都市部における特産品ショップ等の BtoB 販路開拓を進めるとともに、バイヤーのニーズに基づいた商品の開発・改良を事業者へ情報提供し、市場ニーズに合致したもののづくりを促し、販路開拓を支援します。

#### (2) 「丹後のええもん うまいもん展」開催事業

京都丹後ブランド産品会を支援し、京都・大阪などの大都市圏において、丹後産品の PR 及び地域紹介を目的とした「丹後のええもん うまいもん展」を開催します。

#### (3) 丹後王国「食のみやこ」との連携による丹後産品流通支援事業

丹後王国との連携を強化し、京都市内をはじめとする近隣の大都市圏を対象に、農産物や農水産加工品など地場産品の販路開拓及び流通支援を推進します。

### 4. 染色体験・手機体験事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめんや織物に触れ、理解を深める機会を創出するため、「網野染色研究会 茜」及び「網野機業組合」と連携し、体験事業を実施します。これにより、地域産業の魅力を発信し、誘客促進を図ります。

## IV. 情報収集・提供事業（公益目的事業 1）

### 1. 販売動向分析・提供事業

当センターの展示即売室（売店）における販売データの収集・分析・提供を通じ、製造者の経営支援と販路開拓を促進します。

売店での販売データを詳細に分析し、売れ筋商品の動向や消費者の購買傾向を「アミティ情報」として整理し、事業者へ提供します。これにより、売店に納品している事業者へフィードバックを行い、商品開発や販促戦略の立案に活用していただきます。

### 2. ホームページ等による地域資源発信事業

当センターのオフィシャルホームページを通じて、地域情報、センター情報、産品情報、地域企業情報等を発信します。また、SNS ツールを効果的に活用し、センターホームページへの誘導を図るとともに、最新情報を迅速に提供します。

さらに、動画コンテンツの充実を図り、製造工程や職人の技、地場産品の魅力を映像で伝えることで、消費者やバイヤーの関心を高め、販路開拓につなげます。

また、地域の自治体や関連機関・団体と連携し、地域資源情報を積極的に共有し、地域の魅力を PR します。

### **3. 物産展等の販売機会情報収集・提供事業**

各地域の地場産センターや、地域内外のイベント、物産展情報を収集し、京都丹後ブランド產品会の会員へ提供します。これにより、地域 PR や販売促進の機会を創出し、販路開拓を支援します。

### **4. DX 推進事業（強化拡充）**

デジタル技術を活用し、地場産品製造事業者の業務効率化や販路拡大を支援するための DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に取り組みます。

売店の販売データをより有効に活用するため、AI を活用したデータ分析の導入を検討し、売れ筋商品の傾向分析や需要予測への活用を図ります。また、EC サイトの活用支援やキャッシュレス決済の導入促進に努め、事業者の販売力向上を後押しします。

さらに、DX に関する研修会の開催を検討し、事業者のデジタル活用をサポートできる環境づくりを進めます。

## **V. 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業 1）**

### **1. 地場産品常設展示・販売拠点の強化**

当センターの重要な機能の一つである地場産品の PR を目的とした常設展示即売事業を継続します。地域産品の総合展示場として、「丹後ちりめん」をはじめとする約 3,000 品目の地場産品を展示しています。

年間を通して丹後を訪れる観光客や地域内外の消費者に向け、取扱品の情報発信を強化し、販路開拓を促進します。また、消費者ニーズを把握することで、需要の拡大につながる施策を検討し、地場産業の発展に努めます。

### **2. コウノトリ但馬空港丹後産品情報発信事業（新規）**

コウノトリ但馬空港のおみやげコーナーの一角に、丹後の特産品を追加して展開します。これにより、但馬地域や空港利用者に丹後の魅力を発信し、観光誘客につなげます。本取り組みは京丹後市観光公社と連携し、地域間の観光・流通の相互促進を目指します。

### **3. 丹後産品情報発信事業（重点取組）**

一般消費者向けのギフトカタログ（中元・歳暮の 2 種）を作成・配布してきましたが、近年、需要が減少傾向にあることから、より効果的な販促策を充実させることが求めら

れています。消費者ニーズの変化を踏まえ、カタログの内容や販売方法の強化を図り、より魅力的な展開を目指します。

また、ふるさと納税制度や EC サイトの活用についても、個々の事業者では取り組みが難しい「セット商品の開発」など、新たなサービスの展開や、商品の入れ替え、見せ方を工夫し、販売力を高める取り組みを進めます。これらのオンライン販売施策をより効果的に運用できるよう、事業者と連携しながら取り組みます。

## **VI. 会館提供・コミュニティ事業（収益事業 1）**

### **1. 会場提供事業**

センター施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等の用途で貸し出し、地域コミュニティの場としての役割を果たします。これにより、地域の活性化や交流促進の一助となるよう努めます。

また、利用者の利便性向上を目指し、会場の設備保全を図るとともに環境の充実を図り、より快適なスペースの提供に努めます。施設の活用事例やイベントの様子を発信することで、地域のさまざまなニーズに対応しながら、さらなる利用促進を目指します。

### **2. 地域コミュニティ事業（新規）**

丹後緑風高等学校網野学舎の企画経営科が令和 6 年度に実施した、地域の事業者と連携した新商品開発や観光コンテンツの造成を目的とする「恐丹後お化け屋敷」を、令和 7 年度も共催し、さらに充実した内容で展開します。

イベントの魅力を高めるため、新たなコンテンツの導入検討や地域事業者との連携強化を図り、より多くの来場者を呼び込むことを目指します。これにより、人が集う施設づくりを進め、地域の賑わい創出に取り組んでいきます。

## **VII 誘客販売事業（収益事業 2）**

### **1. 誘客事業**

来館者のニーズを的確に捉え、手軽なお土産品となるキーホルダーなどの販売を充実させます。また、令和 6 年度と同様に、お客様目線で店舗レイアウトを常に見直し、陳列商品の視認性を向上させることで、販売機会を逃さない工夫を施します。

## 2. たんご朝市の開催

たんご朝市は開設 24 年を迎え、新鮮で安心・安全、そして美味しい食品を提供する場として、地域住民や観光客から高い評価を得ています。

また、生産者が自ら生産物の価値を検証し、価格を決定・販売する展示即売型の農産物直売所方式は、消費者に好評です。令和 7 年度も引き続き実施するとともに、新規出品者の開拓や消費者へのアピールを強化します。

## 3. アミティ丹後感謝祭の開催（拡充）

地域の皆様への感謝の気持ちを込め、たんご朝市会と共催で「100円模擬店」を開催します。また、丹後緑風高等学校網野学舎及び京丹後市立網野中学校の各吹奏楽部に発表の場を提供するとともに、「網野染色研究会 茜」による作品展の開催などを通じて、地域のにぎわい創出とセンターの利用促進を図ります。

# Ⅷ 丹後地域外食品加工受託（収益事業 3）

加工支援センター（新商品・新技術開発支援事業）の設備を活用し、丹後地域外からの製造依頼にも対応し、受託加工の拡大を図ります。

# Ⅸ 管理事業

## 1. 理事会・評議員会の開催

丹後地域地場産業振興センターの適正かつ円滑な運営を確保するため、理事会及び評議員会を開催します。

### （1）定時理事会

開催予定	主な審議内容
令和 7 年 5 月	令和 6 年度事業・決算報告 ほか
令和 8 年 3 月	令和 7 年度事業計画・予算案 ほか

### （2）定時評議員会

開催予定	主な審議内容
令和 7 年 6 月	令和 6 年度事業・決算報告 ほか